

福祉生活病院常任委員会資料

(平成23年3月9日)

【 件 名 】

1 第Ⅱ期県立病院改革プランの策定について

(総務課)..... 1

病 院 局

第Ⅱ期県立病院改革プランの策定について

平成23年3月9日
病院局総務課

1 概要

経営のより一層の効率化を図り、安定した経営のもとで、県の基幹病院・地域の中核病院として、高度で良質な医療を継続して提供していくため、平成21年1月に政策的不採算部門を中心とした平成20年度から平成22年度までの間における県立病院改革プラン（第Ⅰ期）を策定し実行してきた。この度この第Ⅰ期改革プランが最終年度を迎えたことから、平成23年度から平成27年度まで（5年間）における第Ⅱ期改革プランを策定することとした。なお、本プランについては、県立病院運営評議会の意見等を踏まえ、適宜、見直しを図ることとしている。

2 第Ⅰ期改革プランの総括

- (1) 中央病院では、外来診療から入院診療にシフトを図り、併せて地域の医療機関等との連携を密にすることで新入院患者数を大幅に増加させ、一方で平均在院日数を短縮することで病床利用率を一定程度確保、総収入額を増加させ、平成22年度まで9年連続の黒字を達成の見込みとなった。
- (2) 厚生病院では、第Ⅰ期改革プラン策定時に掲げた目標達成に向かって病院一丸となって取り組むことにより、医師・看護師・コメディカルの確保により医療の質の向上を図ることができたとともに目標を上回る経営状況となり、大幅な経営改善を成し遂げることができた。

両病院の主な取り組み	主な成果等
医師の増員、医師事務補助の配置	医療体制の充実、医師の負担軽減、収益増
看護師の増員及び7対1看護体制の取得(H22.6)	医療体制を充実させ、安全な医療の提供及び手厚い看護が実践できる体制を整備。厚生病院においては19年3月から閉鎖していた病棟を再開(H21.7)。
コメディカルスタッフ等の増員	業務分担の見直し等により医師・看護師の負担軽減、チーム医療を推進、医療水準を向上
DPC（診断群分類包括評価）導入	標準的な医療の推進
医薬品・診療材料等SPD（中央病院）、診療材料SPD（厚生病院）導入	医薬品・診療材料のコスト削減

3 第Ⅰ期改革プランの達成状況と第Ⅱ期改革プランの目標等

(1) 医療面（主な項目）

区分	第Ⅰ期改革プラン(H20~22)		第Ⅱ期改革プラン(H23~27)
	目標	達成状況	目標等
救命救急センター機能の充実（交付金項目）	中央病院 3次救急医療提供施設の機能を継続し年延5,160人受入。	麻酔科医の増員・認定看護師の養成等、体制充実し患者を年延5,303人受入(H21)。	3次救急医療提供施設の機能を継続。センター機能充実を図り、救急患者受入体制を強化。年延5,160人受入。
	厚生病院 医師不足のためセンター設置要件を満たしていない。要件を満たすよう医師確保に努める。	医師確保に努め、医師を増員(H20:38人→H22:45人)。依然、眼科医等が不足。	中部の他病院では対応困難な3次救急に対応するため、引き続き医師確保等の体制整備に努める。
周産期医療の充実（交付金項目）	中央病院 地域の開業医等と連携し、ハイリスク妊産婦を年延600人受入。後方病室を整備し新生児集中治療室(NICU)の受入体制を強化。	地域の開業医等と連携を密にしハイリスク妊産婦を年約400人受入(H20,21)。小児科医増員、後方病室の整備等により医療体制を充実。NICUは小児科医が24時間体制で診療。	東部圏域で唯一の地域周産期母子医療センターとしてハイリスク妊産婦の受入体制を維持する。医療体制充実のため小児科医の増員に努める。
	厚生病院 医師確保に取組み、医療体制の維持に努め、分娩数年445人を目標。低出生体重児に対する医療機能も維持。	助産師外来の開設(H21.9)等により医師の欠員を補い、年420人の分娩を実施。低出生体重児に対する医療機能も維持。	中部医療圏で唯一帝王切開等ハイリスク分娩を行う医療機関として引き続き貢献。年420人分娩。

区分	第Ⅰ期改革プラン(H20～22)		第Ⅱ期改革プラン(H23～27)
	目標	達成状況	目標等
急性期リハビリテーション提供体制の充実 (交付金項目)	中央病院	急性期リハビリテーションの実施により退院を促進し、平均在院日数短縮による救急患者受入の増加を図る。	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等のスタッフ増員により体制を充実。運動器、呼吸器、脳血管疾患リハビリテーションの充実を実現。
	厚生病院	スタッフ増員等を行い、脳血管疾患リハビリテーション等の充実を図る。	言語聴覚士等のスタッフを増員し体制充実を実現。脳神経外科医増員に伴う患者数の増加に対応。
小児救急医療の充実	中央病院	小児医療の拠点として重症症例を重点に担当。	引き続き重症症例に重点を置いた診療を担当。診療所等との機能分化を進め、軽症患者の時間外救急外来受診者数を減少させたい。
	厚生病院	診療体制を維持。診療所等との機能分化により出来れば患者数を減少させたい。	診療機能を維持。診療所等との機能分化を進めたい。
がん医療の推進	中央病院	がん薬物療法専門医の確保・医療機器整備等、がん医療の充実。	地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療を目指し、がん医療に係る専門性の高い資格取得に対し積極的に取り組む。
	厚生病院	薬剤師による抗がん剤調合を行い、がん化学療法の実施を図る。	薬剤師10人中8人が調合可能。緩和ケア外来を開設、がん緩和医療を充実。
看護師養成(交付金項目)	中央病院	看護学校実習生の受入体制を充実し、ニーズに即した質の高い実習を行う。	看護専門学校への教員派遣のため教員養成研修への派遣に継続的に取り組む。
	厚生病院	看護学生の実習病院として研修内容・実習環境の充実を図る。	実習生から直接意見を聞く等、魅力向上・研修内容の充実に努め、看護師・医師による丁寧な指導を実施。
地域医療連携の強化	両病院	地域医療連携室(中央病院は地域連携センター)の体制充実	引き続きスタッフ増員等の体制強化を図り、地域連携パスの策定・運用にも積極的に参画し、病診連携・病病連携を推進する。
臨床研修	中央病院	臨床研修支援室の体制を継続し質の高い研修・指導を実施。臨床研修医1学年8名受入。	H22に定員を2名増員し1学年10名受入。H21に山陰地方で初、NPO法人卒後臨床研修評価機構から認定。
	厚生病院	研修プログラムの充実を図り質の高い研修・指導を実施。研修医1学年2名受入を目標。	H22は1名受入(H23は初期研修医3名の受入を予定)。
人材育成 (交付金項目)	両病院	より質の高い医療提供のため、各種研修への参加等を促進。学会・論文発表、認定看護師資格の取得を奨励。	引き続き質の高い医療を提供するため、指導医養成や認定看護師資格取得に取り組むとともに院内研修等の地域医療機関公開を増やす。

(2)経営面での達成状況と第Ⅱ期改革プランの目標
【中央病院】

1. 主な指標

年度		実績		見込		計画			同規模 黒字病院
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
病床利用率(%)		90.4%	85.3%	88.5%	88.5%	88.5%	88.5%	88.5%	84.6%
患者数(人)	入院(1日あたり)	377	357	370	370	370	370	370	355
	外来(1日あたり)	710	696	690	680	670	660	650	826
診療単価(円)	入院(患者1人1日あたり)	48,568	55,649	55,900	57,500	58,600	59,800	59,900	39,917
	外来(患者1人1日あたり)	10,511	10,936	10,900	10,900	11,000	11,000	11,000	10,144
平均在院日数(日)		15.2	13.9	13.5	13.0	12.5	12.0	12.0	15.4

2. 収益的収支

(単位:百万円、%)

年度		実績		見込		計画			同規模 黒字病院
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
収入	1. 医業収益 a	9,005	9,573	10,074	10,231	10,362	10,503	10,507	
	(1) 診療収入	8,512	9,099	9,417	9,574	9,705	9,846	9,850	
	入院収益	6,704	7,249	7,576	7,759	7,910	8,078	8,109	
	外来収益	1,808	1,850	1,841	1,815	1,795	1,768	1,741	
	(2) その他	493	474	657	657	657	657	657	
	うち他会計負担金	151	142	315	315	315	315	315	
	2. 医業外収益	911	851	849	846	842	837	833	
	(1) 他会計負担金(交付金)	753	697	695	692	688	683	679	
	(2) 国(県)補助金	49	68	68	68	68	68	68	
	(3) その他	109	86	86	86	86	86	86	
	経常収益 (A)	9,916	10,424	10,923	11,076	11,204	11,341	11,340	
	支出	1. 医業費用 b	9,503	9,966	10,338	10,501	10,569	10,670	
(1) 職員給与費 c		5,413	5,697	5,808	5,940	5,977	6,011	6,056	
(2) 材料費		2,506	2,621	2,833	2,873	2,908	2,946	2,946	
(3) 経費		1,112	1,164	1,183	1,202	1,221	1,240	1,259	
(4) 減価償却費		428	436	458	430	407	416	404	
(5) その他		44	48	56	56	56	56	56	
2. 医業外費用		185	159	161	161	166	161	154	
(1) 支払利息		110	101	107	107	112	107	100	
(2) その他		75	58	54	54	54	54	54	
経常費用 (B)		9,688	10,125	10,499	10,662	10,735	10,831	10,874	
経常損益(A)-(B) (C)		228	299	424	414	469	510	466	
特別損益(D)-(E) (F)		△ 49	△ 70	△ 33	△ 35	△ 17	△ 13	△ 13	
純損益 (C)+(F)	179	229	391	379	452	497	453		
経常収支比率(%) $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.4%	103.0%	104.0%	103.9%	104.4%	104.7%	104.3%	102.2%	
医業収支比率(%) $\frac{a}{b} \times 100$	94.8%	96.1%	97.4%	97.4%	98.0%	98.4%	98.0%	94.9%	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	60.1%	59.5%	57.7%	58.1%	57.7%	57.2%	57.6%	52.9%	

(注)同規模黒字病院の欄は、平成20年度地方公営企業年鑑における400床以上500床未満の黒字病院(11病院)の数値である。

3. 資本的収支

(単位:百万円)

年度		実績		見込		計画		
		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収入	1. 企業債	229	1,160	429	830	475	398	392
	2. 他会計負担金	440	491	346	349	343	336	333
	3. 国(県)補助金等	51	631	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	720	2,282	775	1,179	818	734	725
支出	1. 建設改良費	339	1,829	439	830	475	398	392
	2. 企業債償還金	749	773	668	625	689	726	771
	支出計 (B)	1,088	2,602	1,107	1,455	1,164	1,124	1,163
差引不足額(B)-(A) (C)		368	320	332	276	346	390	438

4. 一般会計からの繰入金の見通し(23年2月定例議会に提案中)

(単位:百万円)

	実績		見込		計画		
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収益的収支	904	840	1,010	1,007	1,003	998	994
資本的収支	440	491	346	349	343	336	333
合計	1,344	1,331	1,356	1,357	1,346	1,335	1,328

【厚生病院】

1. 主な指標

年度	実績		見込		計画			同規模 黒字病院
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
病床利用率(%)	82.0%	84.0%	87.3%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	74.9%
患者数(人)	入院(1日あたり)	246	252	262	270	270	270	245
	外来(1日あたり)	530	533	550	550	550	550	549
診療単価(円)	入院(患者1人1日あたり)	40,587	44,759	44,944	45,393	45,847	46,305	40,725
	外来(患者1人1日あたり)	10,661	11,225	11,411	11,525	11,640	11,756	12,513
平均在院日数(日)	14.5	13.6	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	16.9

2. 収益の収支

(単位:百万円、%)

年度	実績		見込		計画			同規模 黒字病院
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
収入	1. 医業収益 a	5,132	5,693	5,974	6,143	6,204	6,264	6,326
	(1) 診療収入	5,012	5,571	5,844	6,013	6,074	6,134	6,196
	入院収益	3,646	4,117	4,312	4,473	4,518	4,563	4,609
	外来収益	1,366	1,454	1,532	1,540	1,556	1,571	1,587
	(2) その他	120	122	130	130	130	130	130
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外収益	695	675	788	730	667	661	655
	(1) 他会計負担金(交付金)	622	553	625	622	559	553	547
	(2) 国(県)補助金	20	23	30	19	19	19	19
	(3) その他	53	99	133	89	89	89	89
	経常収益 (A)	5,827	6,368	6,762	6,873	6,871	6,925	6,981
	支出	1. 医業費用 b	5,714	6,045	6,319	6,473	6,481	6,535
(1) 職員給与費 c		3,077	3,302	3,462	3,577	3,566	3,556	3,545
(2) 材料費		1,506	1,628	1,672	1,718	1,735	1,752	1,769
(3) 経費		768	754	836	860	868	877	885
(4) 減価償却費		338	326	314	283	277	315	309
(5) その他		25	35	35	35	35	35	35
2. 医業外費用		370	394	415	363	360	359	347
(1) 支払利息		204	191	155	153	147	144	133
(2) その他		166	203	260	210	213	215	214
経常費用 (B)		6,084	6,439	6,734	6,836	6,841	6,894	6,890
経常損益(A)-(B) (C)		△ 257	△ 71	28	37	30	31	91
特別損益(D)-(E) (F)		△ 42	67	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5	△ 5
純損益 (C)+(F)	△ 299	△ 4	23	32	25	26	86	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	95.8%	98.9%	100.4%	100.5%	100.4%	100.4%	101.3%	101.8%
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.8%	94.2%	94.5%	94.9%	95.7%	95.9%	96.7%	89.8%
職員給与費対医業収益比率 $\frac{c}{a} \times 100$	60.0%	58.0%	58.0%	58.2%	57.5%	56.8%	56.0%	56.5%

(注)同規模黒字病院の欄は、平成20年度地方公営企業年鑑における300床以上400床未満の黒字病院(23病院)の数値である。

3. 資本的収支

(単位:百万円)

年度	実績		見込		計画			
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
収入	1. 企業債	177	561	412	562	580	80	80
	2. 他会計負担金	318	317	249	324	347	350	313
	3. 国(県)補助金等	13	29	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	508	907	661	886	927	430	393
支出	1. 建設改良費	199	151	412	562	580	80	80
	2. 企業債償還金	578	1,012	565	513	587	557	628
支出計 (B)	777	1,163	977	1,075	1,167	637	708	
差引不足額(B)-(A) (C)	269	256	316	189	240	207	315	

4. 一般会計からの繰入金の見通し(23年2月定例議会に提案中)

(単位:百万円)

	実績		見込		計画		
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収益的収支	622	554	626	622	559	553	547
資本的収支	318	344	249	324	347	350	313
合計	940	898	875	946	906	903	860